

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	カラマツフェス～NOKARAMATSUNOLIFE～
事業主体 (連絡先)	公益社団法人佐久青年会議所 長野県佐久市中込 2976-4 佐久商工会議所 館内
事業区分	(6)ウ 森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,011,970円 (うち支援金: 809,000円)

事業内容

地域住民の皆さまが地域の財産であるカラマツを身近な文化として捉え、活用性を知ることによって生活に取り入れていただくきっかけとしました。また、一人ひとりが地域を守るための循環利用のサイクルの一部であることを自覚する一助として実施しました。

日時: 10月24日(日) 9:00～17:00

場所: 駒場公園多目的ひろば

来場者: 2,173名



【フォトフレーム製作の様子】

事業効果

①目標人数1,000名であったところ、2,173名(217.3%)の地域住民の皆さまに来場していただきカラマツを認知していただくことができた。

②アンケートを行い来場者の82%(1781名、目標:80%)に「カラマツを生活に取り入れたい」と回答していただいた。

③木に携わる仕事を行っている企業団体に協力していただいたことでこれまで繋がりの薄かった川上から川下までの繋がりを強化することができた。

【目標・ねらい】

- ①多くの人にカラマツを認知していただく
- ②カラマツを身近なものとして生活に取り入れていただくきっかけ作り
- ③業界の活性化

※自己評価【A】

【理由】

- ・来場者が目標の217.3%であったこと。
- ・アンケート結果が目標値を超え地域住民の意識を変えることができたこと。
- ・多くの関係者との協力により事業を実施できたこと。

今後の取り組み

今回のイベントで木に携わる仕事を行っている企業団体に協力していただいたことで、業界全体の繋がりの強化を実現し、他分野の地域づくり団体を絡めることで地域住民が参加しやすいモデル的なイベントとなりました。この協力体制を構築したことで、官民一体となつてのカラマツの普及を行っていくきっかけを作り出すことができたので、今後の継続的なイベント開催や、協力していただいた企業団体それぞれのカラマツ普及活動に繋げていきます。

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みんなで作る! 安心・安全・楽しい! 中込手書きマップ製作活用事業
事業主体 (連絡先)	中込商店会協同組合 電話 0267-62-5714
事業区分	(6)エ 商業の振興 (4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,395,220 円 (うち支援金: 1,116,000 円)

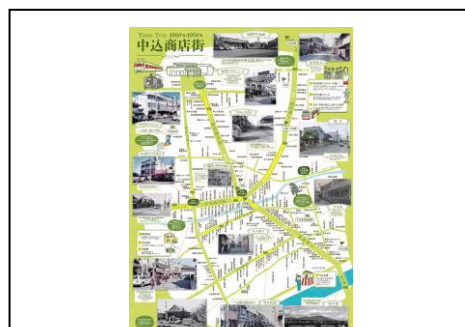
事業内容

中込商店街の40年前の地図と写真を掲載した「昔まっぷ」と現在の商店街を案内する「今まっぷ」を作成し、近隣の各戸にポスティングで配布した。商店街各店にはポスタータイプを配布し掲示した。

年末セールチラシには「今まっぷ」を使い買い回り需要を喚起した。

ネット上には昔の地図に写真のリンクを付けて多くの写真を掲載した。

中込中学校では、若い世代に中込商店街の歴史を知ってもらうため、今・昔まっぷと1970年代の街並みの写真を展示した。



【昔まっぷ】

【目標・ねらい】

- ①地元に親しみを持ってもらう
- ②若者に中込の歴史を知ってもらう
- ③お店へスマホで案内する

事業効果

昔・今まっぷは非常に好評で、地域では大きな話題になった。お客様と商店とのコミュニケーションのツールになったが、コロナ禍で中止したイベントもあり、来街者数などの事業効果は限定的だった。

今まっぷをネットで活用したナビゲーションページには多くの人アクセスし、今後 Web ページを充実させるための弾みになった。

※自己評価【 B 】

【理由】大好評だがコロナ禍で中止した事業もあり、直接的な来街客の増加は軽微だった。ネットで情報収集する人が増えているためサイトのアクセス数は大きく増えた。

今後の取り組み

製作した昔・今まっぷを安全安心なまちづくりに活用していく。防災や子供たちの安全のための情報を盛り込んだマップづくり、ネット上で店舗情報や防災情報にリンクする Web サイトづくりを進める。

若い世代に商店街に親しみを持ってもらうために、中込中学校の生徒会と中込商店街の面白マップ、あるいは探検マップなど中学生の自由な発想のマップを製作する。

情報発信が不十分な商店のホームページを作り情報提供に努める。

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小海町特産品鞍掛豆のブランド化と加工品等の消費拡大プロジェクト
事業主体 (連絡先)	小海町 長野県南佐久郡小海町大字豊里 57-1
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,000,000 円 (うち支援金 : 4,000,000 円)

事業内容

小海町では、都市部との関係人口構築事業「憩うまちこみ事業」に力を注いできたことから、この繋がりを生かし、都市部の商品製造や流通等に関わっている方々と地域住民がともに商品開発を行う新たなプロジェクトを下記の通り実施。

- ・企画提案作成型のワークショップの開催
7月~10月まで、年5回開催
- ・商品開発として2商品のサンプル品作成
鞍掛豆ひたし豆の缶詰
スティック型きな粉

事業効果

- ①新たな特産品の開発がなされ、2商品が完成。
・鞍掛豆のひたし豆の缶詰 ・スティックきな粉
ひたし豆の大きな課題である消費期限を大幅に改善。
等級の悪い豆も活用ができ、鞍掛豆の活用も広がる。
- ②本事業により都市部参加者と地域参加者で質の高い関係性が構築され、お互いの知見を活かしながら、ワークショップ等で商品を開発したことで、事業終了後も関係性が継続し、特産品開発、普及の主体となっている。
- ③②の派生的取組として、地域住民からも遊休農地解消に向けた新たな作付けなどが見られる。

今後の取り組み

本事業の取組により、事業採択となった2つのチームでは、現在も特産品開発、普及に向けて継続的な取組が見られる。また、その派生として取組者から声掛けのあった周辺の方からも事業に参画したり遊休農地解消に向けて鞍掛豆の作付けを行うなど、事業拡大の動きも出てきている。今後、事業の更なる発展として、現在の関係人口の組織化や安定的な鞍掛豆の生産も必要となってくることから、町としても緊密にこのプロジェクトに関わりながら必要な支援をおこなっていく予定である。



【打合せの様子】

【目標・ねらい】

- ①新たな特産品の開発、普及
- ②関係人口の構築
- ③遊休農地の解消

※自己評価【A】

【理由】

- ・新たな特産品の開発がなされた。
- ・より関係性の高い関係人口が構築され、派生的にその周辺の方々も事業に参画されている。
- ・地域住民の中からも遊休農地解消に向けた取組が見られる。

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ワーケーションや開発合宿による新しい働き方誘致事業
事業主体 (連絡先)	立科町企画課 (電話：0267-88-7315)
事業区分	(6) オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,179,065 円 (うち支援金：3,343,000 円)

事業内容

当町の白樺高原エリアを中心に、数多くある宿泊施設を活かしたワーケーションや開発合宿の誘致に取組み、当町が新しい働き方を進める町であるとの認知を広め、当町と企業との関係性を構築して町内に雇用を創出するなど、今後の産業育成につなげることを目的とする。

取組内容として、ウェブページの掲載内容を見直し、企業が決裁を取って出張で来ることを狙った表現に改めた。また、モニター企業を募集してプロモーション動画を作成し、インターネット広告を展開した。併せて、現地観光協会にコーディネート機能を依頼し、利用希望者からの問い合わせに対する調整を行った。

事業効果

企業向けのワーケーション受入れ態勢を町と観光協会が連携して行っていることが評価され、年間 38 件の講演・助言依頼・視察を受けて、取組みの認知向上につながった。開催実績では、コロナ禍でありながら、31 組 172 名が当エリアでワーケーションや開発合宿を行っており、地域活性化に対して一定の効果があったと思われる。

また、ワーケーション開催企業から、社会福祉型テレワーク事業における住民ワーカーへの業務発注も開始され、地域の雇用創出に繋がった。これはワーケーションを入り口とした地域課題解決の好取組事例といえる。

今後の取り組み

今年度の実施で得た知見を活かして、主に以下のことについて取り組んでいく予定である。

○法人向けコンテンツの充実

個人向けではなく、法人をターゲットにした広報展開を行っていく必要があるため、企業向けコンテンツ(社内決裁用資料、企業の開催目的や人数・予算などのインフォグラフィックス)を制作して追加し、B to B の訴求力を高めていく。

また、企業にとって立科 WORK TRIP がどのようなメリットがあるか訴求する必要があるが、今後はよりコンパクトな相談会などで企業内部の課題をヒアリングしながら提案を行う経営層に向けた相談会などを実施して、企業の取り込みを行う。



【開発合宿にきた企業】

【目標・ねらい】

- ① ワーケーションの開催誘致
- ② 観光業を中心とした産業振興
- ③ 企業との関係性構築
- ④ 町内雇用の創出

※自己評価【 B 】

【理由】

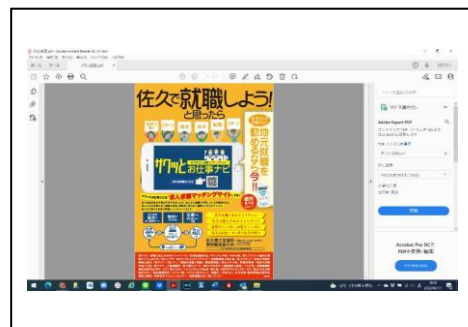
これまでの取組実績と当町の取組みが企業型に特化していることから全国的に大きく取り上げられる機会が増えたことは一定の成果である。しかし、まだ開催回数を増やせる余地が大きく、今後はより多くの企業の開催誘致を図る。

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	求人求職マッチングプラットフォームの構築
事業主体 (連絡先)	佐久商工会議所 (0267-62-252)
事業区分	(6)オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	6,608,056 円 (うち支援金 : 5,000,000 円)

事業内容

- ①求人求職マッチングサイトシステムの構築
- ②求人企業へのマッチングサイト登録
- ③求職者へのマッチングサイト登録



【佐久求人求職マッチングサイト】

【目標・ねらい】

- ①若者のU I Jターン就業を促進
- ②地元企業の求人ニーズを満たし、求人求職のマッチングを推進すること

事業効果

求人企業・・・48事業所登録
求職者・・・新卒者、再就職希望者 登録102名

内登録企業への 採用実績 2名
・佐久地域に根ざした企業の取組みや魅力を発信し、求職者のニーズとマッチングすることが可能となった。

※自己評価 【 B 】

【理由】

・本マッチングサイトの運用により、実際に採用に至るなど実績を残したため

今後の取り組み

- ・ 今後は継続的に運営できる運用方法を検討していく。
- ・ 継続的に求職者及び求人企業の登録を促していく
- ・ UターンのみならずIターンや移住者の受け皿として活用できるシステムとする
- ・ 行政等と連携し相乗効果を生み出す

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南相木村 PR キャラクター「カフェバスのちよっくらさん」の活用による村の魅力UP 事業！
事業主体 (連絡先)	南相木村 南佐久郡南相木村 3525 番地 1
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,700,000 円 (うち支援金：3,760,000 円)

事業内容

本村の PR キャラクターである「カフェバスのちよっくらさん」を活用し、村のことを深く知ってもらうことにより村外の人をひきつけ、交流・移住・定住を促進することにつなげるため、2つの事業を実施した。

①LINE スタンプ、フリー素材制作事業

・SNS のひとつであり、多くの人々が利用している LINE のスタンプを、公募したデザインをもとに制作した。さらに現在進めているフリー素材も LINE のスタンプで公募したデザインをもとに制作。

(1) デザイン募集

令和3年7月 1日～令和3年 8月 30日

(2) フリー素材制作

令和3年9月 1日～令和3年 12月 24日

(3) LINEスタンプデザイン制作

令和3年9月 24日～令和4年 2月 18日

②PR 動画制作事業

・東京ハイジに制作していただいた PR 動画「カフェバスのちよっくらさん」の第2段として、「村の生活」、「特色ある教育」、「地域の伝統・文化」、「自然体験」などテーマとした動画を東京ハイジと共同で制作。

(1) 動画制作発注及び打合せ

令和3年 6月 7日～令和3年 6月 17日

(2) 動画制作

令和3年 6月 17日～令和4年 2月 25日

事業効果

①フリー素材制作については、四季や村の行事等をデザインに入れ、制作を実施した。令和4年3月現在、村内の個人及び事業者あわせて4件のイラスト利用があった。さらに、デザイン募集を通して制作の段階から村民が事業に加わったことで、より村民にキャラクターに愛着を持ってもらうことができた。



©東京ハイジ/南相木村

【制作したフリー素材】

【目標・ねらい】

- ①SNS を活用した PR により不特定多数の人にキャラクターと村を周知する。
- ②村にフォーカスした動画を制作することで、村外 (特に県外) の人が現地を訪れなくても移住定住へのイメージを持ってもらう。
- ③キャラクターをとおして村民が村への愛着を深めること。

※自己評価【C】

【理由】

- ・誰でも使用できるフリー素材制作したことにより、不特定多数の人にキャラクターと村を周知することができた。
- ・より村にフォーカスした動画を制作することができたが、新型コロナウイルス感染拡大により、制作のスケジュールに遅れが出てしまい、早い時期の動画アップができなかった。

②動画については、より村にフォーカスした動画を制作することができ、村外（特に県外）の人達へは、現地を訪れなくても情報や様子が分かり、移住定住へのイメージを持てることが期待される。一方で、新型コロナウイルス感染拡大により、制作のスケジュールに遅れが出てしまい、早い時期の動画アップができなかった。

③昨年度の事業に引続き、子ども世代を中心に、村民がキャラクターを認知し、愛着を持ってくれた。

今後の取り組み

・令和2年度と令和3年度の2回の事業では、①「実際に村に足を運んでもらい、村を知ってもらう」、②新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「村を訪れなくても情報や様子が分かってもらえるように」をテーマとしてイベントやSNSを活用した事業を実施した。令和4年度以降については新型コロナウイルス感染症の終息へ向けた動きの中で、キャラクターが村を飛び出し、「村を訪れなくても実際に村のものに触れて、見て、知る」をテーマにPRしていきたい。

・カフェバスのちょっくらのさんのもつ世界観をより一層表現できる事業を行い、PRはもちろん、興味・関心を持っている⇒南相木村のコアなファンへと変化させることにより、継続した村との関わりから将来的には移住へとつなげていきたい。

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	こもろふれ愛フェスティバル
事業主体 (連絡先)	一般社団法人小諸青年会議所 TEL:0267-23-7854 E-mail:info@komorojc.jp
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,303,179円 (うち支援金:3,442,000円)

事業内容

今この時しか経験できない一生に一度の大切な思い出や絆を親や友達と作ってもらいながら、地域の温かさと郷土の良さをより知ってもらうこと。夢を持つキッカケ創りと、小諸の魅力をより発信し郷土愛を深めてもらう事を目的にこもろふれ愛フェスティバルを実施いたしました。

小諸市南城公園内

【日時】

2021年 10月23日(土)

AM10:00~PM16:00

【規模】

延べ参加人数 3,500名



【 スポンジボール投げ 】

【目標・ねらい】

- ① 子ども達の思い出作り
- ② 絆の大切さの再認識
- ③ 郷土愛の醸成

事業効果

- ① スポーツ体験会を実施し、参加した皆さんは、笑顔で楽しそうにたくさんの方と交流しており、いろいろな体験を通じて絆を育むことが出来ました。
- ② 子ども達の将来の選択のきっかけづくりの機会に各企業と共同して、学校では体験できないような職業体験を通して、子ども達の将来やりたい事・夢などを育んでもらえ興味を持ってもらうきっかけ作りを行う事が出来ました。
- ③ 郷土愛、地域にある様々な飲食店に地域の食を通して郷土の魅力を再確認していただくきっかけづくりを行う事が出来ました。

※自己評価【 C 】

【理由】

- ・来場者の7割の方に小諸の魅力を感じてもらい、約8割の方に沢山のひとと触れ合い絆を感じてもらった事が出来ました。
- ・アンケート結果を見ると開催時期や駐車場にご意見を頂きました。開催時期などを再検討するとより来場者にはさらに満足して頂く事が出来ると思います。

今後の取り組み

今回の開催した「こもろふれ愛フェスティバル」にて小諸の魅力と絆の大切さを発信することが出来たと思います。今回限りで終わりにするのではなく継続的に地域の魅力を発信することで、子ども達に郷土愛を深めてもらう事が出来ると思います。また、より多くの来場者に楽しんでもらい思い出と絆の大切さを再認識してもらうために今回のアンケートをもとに来年度の開催に向けて小諸青年会議所内で話し合いを行ってまいります。

私たち(一社)小諸青年会議所では、今回の「こもろふれ愛フェスティバル」をきっかけに今まで以上に学校や地域の団体・企業と連例を行いながらさらに小諸市を魅力あるまちにしていけるよう活動を行ってまいります。

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	佐久の資源を組み合わせた「佐久オリジナルウエディング」事業
事業主体 (連絡先)	佐久ブライダル協議会 長野県佐久市長土呂1169-7
事業区分	(8) その地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,325,720円 (うち支援金: 994,000円)

事業内容

- ・佐久市の事業者で作る佐久ブライダル協議会を立ち上げ、59社の賛同を得て、佐久市の資源で行う佐久ウエディングの実施が3件行われた。
2021年11月13日、2022年1月22日、2月12日
- ・佐久大学、長野県大学の学生の結婚に関する意識調査のアンケートを実施して293件の回答を集める事が出来た。
- ・佐久ウエディングの冊子を作成する事が出来た。
- ・佐久ウエディングのホームページを作成出来た。
- ・コロナの影響でPR広告やイオンでのイベントを中止せざる得ない状況となってしまった。

事業効果

- ①佐久市の企業59社からも佐久ウエディングに賛同を得る事が出来、地域活性化につなげる事が出来た。
- ②学生からのアンケート結果により佐久エリアの地域特性を導き出すことが出来、結婚式のイメージアップの必要性を実感できた。
- ③今まで取引のない佐久市の事業者からの仕入れが行われた。(地域内経済循環に繋がった)

今後の取り組み

今年はコロナの影響を受けて佐久ウエディングの実施組数が思うように増やすことが出来なかったが、引き続き地元での結婚式を増やすことにより、地域経済の向上に貢献し、人口増や少子化対策にも繋げていけるようにしていきたい。



【佐久ウエディングの様子】

【目標・ねらい】

- ① 佐久ウエディングの実施

※自己評価【A】

【理由】

・コロナ禍において影響を強く受けてしまいましたが3件の佐久ウエディングが実施され、カップルさんの後押しになりお喜び頂けた事が何よりでした。

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	Go Green! みんなでエコなまちづくりプロジェクト
事業主体 (連絡先)	軽井沢ハルニレ・グリーン・クラブ
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,619,538 円 (うち支援金 : 3,695,000 円)

事業内容

脱炭素社会に向けた社会の動きが加速する中、住民一人ひとりの環境意識の向上と、環境取組の具体的なアクションが求められている。それを実現する機運を作るべく、

- 1) 環境情報紙「エコチル」を各地域で発行しているアドバコム社と連携してエコチル長野版を創刊し、佐久地域の全小学校に無料配布。その中で、環境問題や自然エネルギーなどの現状や課題等を身近な事例から分かりやすく記事化し、小学生や保護者の環境意識の向上を図った。
- 2) 自然エネルギー由来の電力を、住民が力を合わせて共同購入する仕組み「ずくだせでんき」を立ち上げ、新聞広告や各種 PR 活動を通じて自然エネルギー由来の電力への切替の必要性やメリットの認知を図るとともに、ずくだせでんきへの参加者を募り、並行して新電力各社を集め、共同購入のオークション準備を進めた。



【目標・ねらい】

- ① 住民一人ひとりの環境への理解と意識の向上
- ② 自然エネルギー由来の電力への切替に向けた機運の醸成・アクションの創出

事業効果

- 1) 教育委員会の協力も得て、佐久地域（北佐久郡、佐久市、小諸市、南佐久郡（事業途中に追加））の全38校の小学校に毎月配布し、小学生やその保護者からの購読率も高く、また学校の教員からもSDGs教材としても評価が高かった。各小学校での身近な環境取組にも繋がり（エコチル内でも特集）、住民の環境に関する理解を深めることが出来たと感じている。小学生やその保護者以外からの住民や周辺地域からも購読の依頼があり。
- 2) 電力市況の悪化により、自然エネルギー由来の電力への切替自体は、今年度実現出来なかったものの、共同購入の申込世帯数が約500世帯に達し、具体的なアクションに踏み出した世帯を創出出来たことは、今回の取組に一定の効果があったと認識しており、市況が好転したタイミングで共同購入のオークションを実施し、切替を進めていく予定。

※自己評価【B】

【理由】

- ① エコチルの生徒、及び保護者の購読率が夫々98%、62%と、当初目標を超えた。
- ② 自然エネルギー由来の電力への切替に向けた参加者数は、500世帯と、目標の4000世帯には達しなかった一方、HPへのアクセス数は6000件を超えた。

今後の取り組み

- 1) 環境情報紙エコチル長野版については、来年度も継続して取組むとともに、上田地域にも配布地域を広げ、環境への理解・取組の裾野を広げていく予定。
- 2) 自然エネルギー電力への切替促進の取組については、今年度実施できなかった共同購入のオークションを実施する。一方で、今年度の取り組みを通じて、実際のアクション（申込み、切替）に繋げる難しさは実感しており、住民への訴求・機運を高める工夫をしつつ、取組を継続する予定。